

肉用牛繁殖経営チェックシートについて

チェックシートは、各経営体が課題を把握し、取組可能な課題について1つ1つ改善をはかり、生産性向上につなげることを目的に作成しました。

なお、チェックシートは、一般的かつ基本的な項目で構成されており、チェック欄で「×」となった場合でも必ずしも改善が必要という訳ではありません。

改善に係る技術等については、地域の関係機関に相談してください。

作成：鹿児島県農業開発総合センター普及情報課

チェックシートは [次ページ](#) →

肉用牛繁殖経営チェックシート

項目	No.	チェック項目	チェック欄
一般管理	1	BCS(栄養度)は適正である(やせすぎ, 太りすぎていませんか)	○ ×
	2	削蹄を年1回以上行っている	○ ×
	3	分娩前2ヵ月から授乳期にかけて, 母牛の増し飼いをしている	○ ×
	4	異常産ワクチンの予防注射を接種している	○ ×
繁殖管理	5	繁殖管理台帳を記帳し, 活用している	○ ×
	6	平均分娩間隔は, 12ヵ月以内である	○ ×
	7	発情予定牛を特定し, 朝, 夕に2回以上観察している	○ ×
	8	早期離乳(人工, 制限)の場合, 分娩後30日以内に発情が確認できている	○ ×
	9	人工授精は, 発情兆候に基づき適期授精をしている	○ ×
	10	長期不受胎牛は, 獣医師に相談し, 淘汰・更新は適正に行っている	○ ×
分娩・出生	11	分娩房は, 牛の移動前に清掃・消毒をしている	○ ×
	12	子牛下痢・肺炎ワクチン接種と寄生虫対策を実施している	○ ×
	13	分娩に立ち会い, 必要に応じて助産している	○ ×
	14	分娩直後に臍帯(へそ)を消毒している	○ ×
	15	初乳を, 飲んだことを確認している(分娩後できるだけ早く飲ませている)	○ ×
	16	生時体重を測定し, その後の管理に活用している(胸囲でも可)	○ ×
子牛・育成	17	子牛は, 生後10日目頃から別飼い, 餌付けをしている	○ ×
	18	人工乳と, 細断した一割程度の良質な粗飼料を十分に給与している	○ ×
	19	人工哺育の場合, 代用乳と希釈するお湯の量を毎回計っている	○ ×
	20	常に新鮮な水が飲める畜舎環境にしている	○ ×
	21	離乳は, 2ヵ月齢までに行っている(人工乳の摂取量を目安にしている)	○ ×
	22	群飼いの場合, 全頭数が同時に飼料が食べられる飼槽である	○ ×
	23	飼料の切り替えは約2~3週間かけて徐々に行っている	○ ×
	24	群飼いは, 性別や月齢毎に揃えている	○ ×
	25	良質粗飼料を主体に切断して給与している	○ ×
	26	防暑防寒対策を行っている	○ ×
	27	繁殖供用開始は, 体高118~120cm, 体重300kg, 14ヵ月齢を目安にしている。	○ ×
	28	BCS(栄養度)を適正でに管理している(やせすぎ, 太りすぎていませんか)。	○ ×
ICT機器	29	牛群管理システムを導入している	○ ×
	30	分娩監視カメラを導入している	○ ×
	31	分娩監視システムを導入している	○ ×
	32	発情発見システムを導入している	○ ×